

会 議 録（1）

会議の名称	第15回桶川市地域公共交通会議
開催日時	令和2年8月3日（月） （開会）午後2時00分・（閉会）午後3時45分
開催場所	桶川市保健センター3階 講習室
主宰者の氏名	桶川市長 小野克典
議長の氏名	桶川市副市長 堀口守
出席者氏名 （委員）	第1号委員：堀口守 第2号委員：渡部学、田沼健一、山科和仁、鈴木貴大 第3号委員：熊谷恵一 第4号委員：鶴岡洋 第5号委員：藤田貢 第6号委員：菊池弘、仲又清美、相馬正人、山中敏正、手島文子 第8号委員：金子秀和 第9号委員：岡村敏之、奥重裕貴、築井功次郎、松本みどり、 沖田圭一
欠席者氏名 （委員）	第2号委員：野口佳一 第3号委員：佐藤学、牧野繁夫 第6号委員：三澤みどり 第7号委員：青木宏之 第9号委員：渡邊正
事務局職員 職名及び氏名	市民生活部：部長・金子由則、副部長・岩崎克浩 安心安全課：課長・滝瀬利二、副課長・岸哲也、係長・関寿生、 主査・岩崎孝一、主事・片山大夢
会 議 事 項	議 題
	【確認事項】 （1）前回会議の会議録の確認 （2）前回会議の振り返り
	【議決事項】 （1）議案1 運転免許返納者に対する桶川市内循環バス運賃の割引について （2）議案2 東20（おけがわ団地回り）のバス停（東45「おけがわ団地 集会所前」）の移設について
	【協議事項】 （1）試験運行中の検証項目、検討対象基準及び評価方法について
	【その他】 （1）今後のスケジュールについて

配布資料

- 委員名簿・座席表
- 会議録（第 14 回地域公共交通会議）
- |      |
|------|
| 資料 1 |
|------|

 前回会議の振り返り
- |      |
|------|
| 資料 2 |
|------|

 運転免許返納者に対する桶川市内循環バス運賃の割引について  
ついて
- |        |
|--------|
| 資料 2-2 |
|--------|

 東 2 0（おけがわ団地回り）のバス停（東 4 5「おけがわ団地集  
会所前」の移設について
- |      |
|------|
| 資料 3 |
|------|

 試験運行中の検証項目、検討対象基準及び評価方法について
- |      |
|------|
| 資料 4 |
|------|

 今後のスケジュールについて
- |      |
|------|
| 参考資料 |
|------|

 シルバー・サポーター制度について

## 会 議 録 ( 2 )

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>開会宣言</p> <p>4月1日付けで委嘱された委員の紹介 委員紹介、事務局紹介</p> <p>本日の会議は委員25名の内、19名の出席。 過半数出席のため、要綱に基づき会議は成立となる。</p>
会長	会長挨拶
議長	会議は原則公開となっているが、本日の会議で非公開とする事項はあるか。
事務局	なし。
議長	<p>本日の会議は全て公開とする。</p> <p>本日の傍聴希望者はいるか。</p>
事務局	傍聴希望者なし。
議長	本日の会議の会議録署名人は、仲又清美委員にお願いする。
委員	承諾
議長	<p>議題、【確認事項】(1)及び(2)について</p> <p>(1) 前回会議の会議録の確認</p> <p>(2) 前回会議の振り返り</p>
事務局	<p>説明 ※会議録(第14回地域公共交通会議)、資料1</p> <p style="text-align: center;">～ 指摘等なし ～</p>
議長	<p>議題、【議決事項】</p> <p>(1) 議案1 運転免許返納者に対する桶川市内循環バス運賃の割引について</p>
事務局	説明 ※資料2

委員	資料において運転免許返納者対策について謳っているのはバス、電車になっているが、市内のタクシー利用者については考えていないのか。それとも今後検討していくのか。
事務局	市内循環バスだけやれば免許返納が進むとは考えていない。公共交通全体として民間路線バス、タクシーと一緒に取り組んでいければと考えている。
委員	以前、高齢者の足、また駅から離れた地域におけるルートの見直しをする中で、不便が無いかという議論をした際に、この点は交通会議ではなく、福祉の観点から検討することになるので、この会議では細かく標記ができないということだった。 この場では福祉の観点まで含むと範囲が広がり過ぎてしまうので、利便性、ルートの見直しを中心に話し合ってきたという認識である。
委員	免許返納者割引を受けるためには、運転経歴証明書が貼り付けられたマイナンバーカード、または運転経歴証明書ということだが、コピーでは不可ということで良いか。
事務局	コピーは不可。原本の提示のみとさせていただきます。
議長	他に質問等がなければ、議決事項（１）について採決を行いたい。「議案１ 運転免許返納者に対する桶川市内循環バス運賃の割引について」賛成の方は挙手をお願いします。
	～ 全員挙手 ～
議長	議案１については本会議で全会一致により承認された。
議長	（２）議案２ 東２０（おけがわ団地回り）のバス停（東４５「おけがわ団地集会所前」の移設について）
事務局	説明 ※資料２－２
委員	移設後バス停の名称は「おけがわ団地集会所前」から変更しないのか。

事務局	<p>集会所から少し離れることになるが、バス停名が変わると車内放送やルート図も変わることになるので、試験運行中は現状のままとし、本格運行へ移行する際に再度検討したい。</p>
議長	<p>他に質問等がなければ、議決事項（２）について採決を行いたい。「議案２ 東２０（おけがわ団地回り）のバス停（東４５ おけがわ団地集会所前）の移設について」賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>～ 全員挙手 ～</p>
議長	<p>議案２については本会議で賛成多数により承認された。</p>
議長	<p><b>【協議事項】</b> （１）試験運行中の検査項目、検討対象基準及び評価方法について</p>
事務局	<p>説明 ※資料３</p>
委員	<p>なかなか目標の人数を出すのは難しい中でさらにその２分の１が判断の目安というのはざっくりしているが、１便１km当たりの利用者数を出して一つ一つ路線を評価していくというのは他の自治体でもやっていない方法ではある。</p> <p>今回の再編では通る場所、通らない場所を慎重に審議した。その中で、課題となってくることについては検証していくべきだろう。</p> <p>この基準であれば乗降調査を行えば調べられる数値なので、調べられる最大限のデータで検証ができるのではないか。</p> <p>目標値の２分の１というのも旧ルート of 平均値のさらに半分ということなので、そのような利用状況であれば何かしら対処しなければならない。基準値は下回ったから即廃止ではなく、対応策を話し合う必要があるという認識である。</p> <p>また、以前から収支率での評価という意見もあったが、運賃割引の人が増えれば収支率は自然と下がる。利用していただくためには収支率よりも人数で評価する方が良いと考える。</p> <p>資料にある目標値で行くと当初予定している収支率に近い形になるので、結果的に良い目標ではないか。</p> <p>ただ、この評価によると最初から基準を下回ると思われる場所もあるかと思うので、そこについても検証が必要かと思う。</p>
委員	<p>資料の利用人数 279,880 人という数値は 2018 年度の数値ということが良いか。</p>

事務局	令和元年度（2019年度）の数値となる。
委員	<p>桶川の循環バスは8割から9割の方が桶川駅で降りる。桶川駅で乗った、降りたという数値がこれに含まれると多くの停留所がこの平均値の2分の1を割ってしまうのではないか。</p> <p>この会議では当初から桶川駅への速達性を重視した形でルートの再編を行ってきた。そこでこの桶川駅での数値を分母に入れてしまうと他の停留所の人数がかなり落ちてしまうので、桶川駅は最初から抜いたほうがいいのではないか。</p> <p>また、2019年度がベースとなっているので、このコロナ禍によって民間バスはかなり打撃を受けている。</p> <p>今後なにをもって終息したと言えるのか、もし、今後終息したと言われても、すぐに公共交通利用者が回復するとは言えない。</p> <p>そうするとベースとなる数値が2019年よりかなり落ちたところからスタートとなるため、アップ率、ダウン率も考慮する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>検証してく中での基準としてこの数値を使わせてもらい、今後コロナの状況を見て、利用者が増えない、この基準を使うのは適切ではないという意見があれば、基準の見直しも行っていきたい。</p>
委員	<p>現時点でこの0.21の基準をどのくらい満たしているか。</p> <p>また何パーセントの停留所がこの基準を下回っているのか。</p>
事務局	<p>7月1日からの運行になるため、バス会社から報告がまだ上がってきていない。</p> <p>しかし、旧ルートではこのコロナ禍で4、5月は昨年に比べ6割減、6月からは若干回復し4割減となっている。</p> <p>バス停ごとの数値は手元に乗降調査の資料が無いため、正確な数字では出せないが、旧ルートでは多くのバス停が1日1人以上はご利用いただいていたと認識している。</p>
委員	<p>市民の方に0.21の基準を満たしていない停留所を積極的に利用していただくことも必要だと思う。その結果ルートも循環バスも維持できるのではないか。</p>
委員	<p>乗車が少ない停留所は降車も少ないものなのか。</p>

事務局	<p>旧ルートは片側回りだったため、遠回りになる場所については乗車人数が少なかった。それでも行きは遠回りだけど帰りは乗りたいという方もいたので、停留所によっては降車人数が多いところもあった。</p> <p>今回の新ルートでは桶川駅周辺は相互通行となっているため、相極端に遠回りになるところはあまりないが、相互通行の停留所については反対側の利用状況も考慮して検討していきたい。</p>
委員	<p>桶川駅の乗車については既存のデータで実際この基準でどうか照らし合わせた上で検討する必要がある。</p> <p>ルートについては1便1km当たりの正確な数値が出ると思う。</p> <p>バス停についてはルート上であれば多少基準を下回っていても交通安全上問題なければ置いておいても支障はない。この数値だけでは判断できない部分もあると思う。</p> <p>その中で大きく迂回しているようなルートがある場合は、この数値を参考にして検討していけば良いのではないかと。0.21を下回っているからここは通過ということは考えられない。</p>
事務局	<p>バス停については300mから500m間隔で置くということもあるので、迂回しているようなところについて0.21というのを考慮して判断していく。</p> <p>ルートの経路も考慮する形で判断する旨も注意書きで追加することで考えたい。</p>
委員	<p>利用人数の状況等もあるが、ルートの見直しは今後あり得るのか。</p>
事務局	<p>利用者の動向を見ての判断になるが、ルートを変更すると時刻にも影響が出てしまう。</p> <p>そのため、試験運行中のルートの変更は利用者の混乱を招く可能性があることから難しいと考えているが、変更内容、ダイヤへの影響、利用者への影響等を踏まえ、この場での意見を踏まえて判断していきたい。</p>
委員	<p>民間路線バスとの競合を避け市道1号線を通らないルートへの変更となったが、市民からの要望もあるため、再度市道1号線を通るルートについても検討を要望したい。</p>
議長	<p>他に質問等がなければ、一部注意書きの追記等はあるが、現時点では試験運行中の検査項目、検討対象基準及び評価方法についてはこの内容で進めさせていただきたい。</p>

議長	<p>【その他】</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p>
事務局	<p>説明 ※資料4</p>
議長	<p>その他委員の皆様から何かご意見等あるか。</p>
委員	<p>シルバー・サポーター制度については事業者が1割負担をしている。埼玉県でも子育て制度として、お子さんの人数によって補助金が出る。また、妊婦応援タクシー利用券は市内に住所があれば母子手帳の提示でタクシー券を配布する。このような取り組みをやっている自治体があるので、桶川市においても検討いただきたい。</p>
事務局	<p>妊婦支援等については福祉政策の部分もあるので、福祉部局に伝え、検討させていただく。</p>
委員	<p>桶川市には妊婦さんに関係する病院が無いので少なくとも上尾までは行かなければならない。その分の補助だけでも検討してもらいたい。</p>
委員	<p>コロナ禍において民間路線バス事業者の車内の3密対策や、利用状況など情報交換させていただきたい。</p>
委員	<p>7月現在で3割から4割の利用者が減少している。          コロナが終息したからと言ってすぐに利用者が戻るとは考えられない。          そのため、路線バスがいつまでも同じ路線を同じ回数必ず走るとするのはなかなか難しい。          民間路線バスは収支率も考慮しなければならないため、減便等は避けられない。現状の路線バスが今後も変わらず運行してもらえるとという考えであれば、考え直してもらう必要がある。</p>
委員	<p>今後さらに感染者が増えることが見込まれているが、密を避けるために会議が開催できず、検討しなければならないことが先に進まないことが考えられる。当会議についてもウェブでの参加等も検討してみるのもいいのではないか。          また、事業者は毎日多くの人とふれあっている。今後万全な感染対策をしたとしても従業員から絶対に感染者が出ないとは言えない。          場合によっては事業所でクラスターが発生し、従業員を半分以上休ませなければならないような日がくるかもしれない。</p>

議長	<p>そうなった際は市内循環バスについても止めざるを得ない日が来るかもしれない。</p> <p>利用者を増やすための政策も考えていかなければならないが、コロナ禍における対応も一緒に考えていただきたい。</p> <p>他に意見等がなければ、これで終了とする。</p> <p>以上</p>
----	--

令和 2 年 9 月 2 日

会議録署名人 仲 又 清 美